下水道事業ローリングシート（個別事業点検表）

実施方針	Ⅲ　下水道施設の適切な管理 Ⅳ　下水道事業の経営の健全化	施策目標	1　管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます 1　経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	施策	①　計画的な維持管理および改築の推進 ④　計画的な維持管理および改築の推進（再掲）	下水道維持課

総事業費	10,453,712千円	事　前・中　間　評　価								
計画額	令和元 年度（予算額）	令和2年度（予算額）	令和3年度（予算額）	令和4年度（予算額）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	866,466千円	908,390千円	1,070,486千円	1,024,922千円	1,052,638千円	1,202,462千円	1,172,802千円	1,017,502千円	1,023,802千円	1,114,242千円
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・ストックマネジメント実施計画書を策定します。 ・汚水管長寿命化計画に基づき、南平地区において老朽管渠870mの更生工事を実施します。 ・青木、横曽根地区において老朽管渠1,310mの布設替え工事を実施します。 ・市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査17,800m、管内清掃19,200mを実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	・汚水管長寿命化計画に基づき、南平地区において老朽管渠750mの更生工事を実施します。 ・青木、横曽根地区において老朽管渠1,481mの布設替え工事を実施します。 ・市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査16,800m、管内清掃17,200mを実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	・青木、横曽根地区において老朽管渠2,800mの布設替え工事を実施します。 ・市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査15,000m、管内清掃17,200mを実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	・青木、横曽根・中央・南平地区において老朽管渠2,160mの布設替え、管更生工事を実施します。 ・青木、横曽根区域の管内調査、市内全域の管内清掃を実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	・青木、横曽根・中央・南平地区において老朽管渠2,900mの布設替え、管更生工事を実施します。 ・青木、横曽根区域の管内調査、市内全域の管内清掃を実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	・青木、横曽根・中央・南平地区において老朽管渠3,000mの布設替え、管更生工事を実施します。 ・青木、横曽根区域の管内調査、市内全域の管内清掃を実施します。 ・市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。 ・第２期に向け、ストックマネジメント計画書を作成します。				

総事業費	2,719,108千円	終　了　時　評　価								
決算額	820,209千円	879,110千円	1,019,789千円							
達成状況	①ストックマネジメント実施計画書を作成した。 ②老朽管渠726mの管更生工事を完了した。 ③老朽管渠1,308mの布設替工事が完了した。 ④管内調査13,715m、管内清掃20,574mを行った。 ⑤破損等による小規模改修工事を適切に実施することができた。	・当初の予定通り管更生工事を行いました。 ・布設替え工事については、数値目標1,481mに対し1,453m実施しました。目標との差は、台帳上と実際の管の距離に誤差があったこと、また布設替えした結果、管の距離が短くなったことによるもので、事業の進捗としては予定どおりです。 ・管内調査については、数値目標16,800mに対し10,760m実施しました。ストックマネジメント計画に基づき管径450mm以上の管を対象として実施したものですが、450mm以上の管が想定より短かったためであり、事業の進捗としては予定通りです。 ・当初の予定通り管渠清掃を行いました。	管渠の布設替え、管内調査委託については予定通り工事、調査を実施しました。 清掃延長は少なくなりましたが、清掃コストの大きい大口径管渠や排水路、伏せ越し箇所等の清掃を実施しました。							